

ふくしま

(題字：吉岡小学校6年 水 澤 柚 芽 さん)

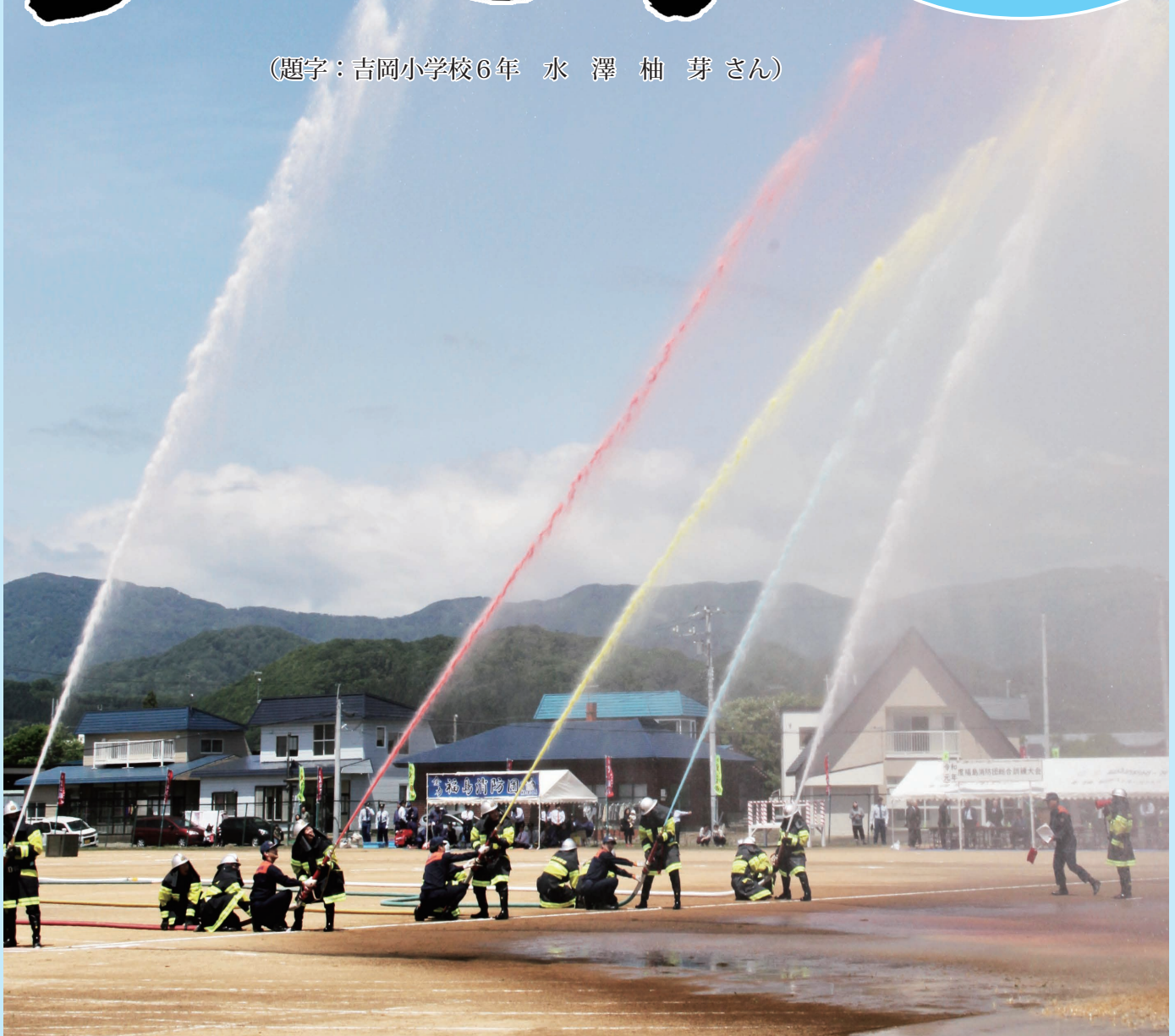
第123号

令和元年8月1日発行

議会だより

発行：福島町議会

Tel. 0139-47-2215



令和元年6月9日(日) 福島消防団総合訓練大会

写真提供：福島フォトサークル

らくしま

吉岡小学校6年 新 山 碧 さん

ふくしま

吉岡小学校6年 相 原 隼 さん

■ 4年間の活動を振り返る	P 2	■ 一般質問	P 10	■ 会議等出席状況	P 17
■ 定例会 5月会議	P 6	■ 各議案の審議結果	P 11	■ 町民の声	P 18
■ 文書質問	P 6	■ 常任委員会レポート	P 12	■ 議員の雑感	P 18
■ 定例会 6月会議	P 8	■ 研修レポート	P 16		

いま振り返る！

この4年間の議会活動の主な内容をまとめました。
重要案件は常任委員会・特別委員会で論点・争点を整理し、報告書として提言（手交）しています。4年間の活発な議会活動を抜粋して皆さんに改めてお知らせいたします。

本会議

本会議では、町長提出議案の修正可決1件、議会提出議案にも1件の修正可決がありました。

○審議した議案の状況（H27.9～R元.7末まで）（単位：件）

年 度	審 議 議案数	町長提出案件（計384）			議会提出案件（計42）		
		条 例	予算・決算	その他	条例改正	意 見	決 議
H 2 7	9 9	2 6	3 5	3 0	3	5	—
H 2 8	1 0 1	2 3	3 5	2 9	6	8	—
H 2 9	9 9	2 8	3 8	2 8	1	4	—
H 3 0	1 0 8	1 6	4 0	3 8	6	7	1
H 3 1	1 9	9	3	6	—	1	—
合 計	4 2 6	1 0 2	1 5 1	1 3 1	1 6	2 5	1

年 度	議 会 の 主 な 審 議 内 容
平成27年度 （H27年9月～ H28年3月）	○定例会9月会議（初議会） ・新体制で議会がスタート。正副議長等が決定。 ○定例会12月会議 ・「人財育成基金条例」「がんなんかに負けない基本条例」「空き家等の適正管理に関する条例」「町内の公共的団体の活動の総合調整」を議決。 ○定例会2月会議 ・策定が遅れていた「第5次総合計画」を議決。併せて「人口ビジョン・総合戦略の策定」「第2次福島町まちづくり行財政推進プラン」「吉岡総合センター条例」を議決。
平成28年度 （H28年4月～ H29年3月）	○定例会12月会議 ・常任委員会で提言した全産業一律の設定を盛り込んだ「がんばる地元企業等応援条例」を議決。 ○定例会3月会議 ・「まちづくり行財政推進プランの変更に伴う関係条例の整理」に修正案が動議で提出、町民プール無料化の条例を削除し修正可決。 ・常任委員会意見で提言した指定管理者の利用料金制度を盛り込んだ「温泉健康保養センター条例の一部改正」を議決。
平成29年度 （H29年4月～ H30年3月）	○定例会5月会議 ・平成28年度定例会3月会議で修正可決し、常任委員会で意見提案した「町民プール条例及びファミリースポーツ公園条例の一部改正」を議決。 ○定例会9月会議 ・提言してきた「土地開発基金条例の廃止」を議決。 ○定例会3月会議 ・特別委員会で議論した「国民健康保険診療所設置条例の制定」を議決。 ・「アワビ養殖加工施設条例」「伊能忠敬北海道測量開始記念公園管理条例の制定」を議決。
平成30年度 （H30年4月～ H31年3月）	○定例会6月会議 ・常任委員会意見を反映した「墓地公園設置・管理条例の一部改正」（合葬式墓地）を議決。 ○定例会3月会議 ・特別委員会で審査した「議会基本条例」「議会会議条例」「議会基本条例に関する諮問会議条例」等の一部改正、「議会議員政治倫理条例」「議会参画奨励条例」の制定を議決。
平成31年度 （H31年4月～ R元年7月）	○定例会6月会議 ・予算特別委員会で議論した「ふるさと応援基金条例の一部改正」を議決。



次期体制へつなげるため！ 4年間の議会活動を

特別委員会

福島町総合戦略 調査特別委員会（H27.11.30～12.3）

町では「まち・ひと・しごと創生法」に基づく、「福島町人口ビジョン・総合戦略」の策定を進めている。第5次福島町総合計画との整合性が図られているか、「目指すべき福島町の将来像が明確に明示されているか」、実質4回にわたり調査（第108号に掲載）。執行にあたって住民視点に立ったきめ細かな検討、適切な財政運営と個別計画の確実な推進を提言。

国民健康保険の北海道広域化 調査特別委員会（H29.12.15、H30.1.29）

国で進める国民健康保険の広域化に伴い、北海道からの情報提供を基に、平成30年度予算に向け、保険税率の決定作業を進めていることから、保険税率が適当かどうか、実質2回にわたり調査（第117号に掲載）。現行税率を据え置く方向性に一定の理解をするが、町民への説明にあたっては、北海道が提示した納付金・標準保険料率の算定根拠等をあらためて確認することを提言。

町立診療所の設置 調査特別委員会（H30.2.20、4.13、8.8）

深浦内科医院の廃止に伴い、医師の確保と町立診療所を設置することとした経緯を確認し、町立診療所設置運営に係る特別会計設置、既存施設の改修・医師住宅建設・医療機器・運営する職員等の経常経費など予算を含め、実質3回にわたり調査（第119号に掲載）。

町内外医療機関の利用状況把握に努め、利用者増対策を講じ、町民に信頼される安定した運営を提言。



議会基本条例等 審査特別委員会（H31.1.30、2.18）

「議会基本条例」制定10年間の検証と実績の反映を期し、議会基本条例諮問会議に議会基本条例全体の見直しを諮問し、答申の内容を踏まえ、関連規定を含め全体的に、より分かりやすく改正を目指し、関連条例・規則・要綱等について、実質2回にわたり審査（第122号に掲載）。新たに「議会参画奨励」「政治倫理」の2条例、「議員間討議」「議会・議員活動評価」「議会広報広聴」等7要綱を制定、議会基本条例を中心に、10条例・2規則・2基準・1規程・9要綱にまとめました。

積極的に調査・提言

総務教育（調査34件、意見書審議21件）

年 月 日	主 な 調 査 項 目	調 査 目 的
H28.2.24	平成28年度予算に関連した 条例制定・条例の一部改正	機構再編・定員管理適正化計画の見直し等に伴う平成28年度予算関連の条例案件を調査
H28.4.26	人材育成・企業応援等の制度設計	「福島町人材育成基金」の制度設計を重点に調査（企業応援関係は経済福祉常任委員会で議論）
H28.8.1① H28.10.5②	新たなまちづくり法人の設立	新たな設立法人がまちづくりの補完的な役割を担うことを期待していることから、設立法人の概要、運営等を確認し、町の支援内容等を調査 
H29.4.28	社会教育施設利用料 	2月22日開催の総務教育常任委員会で、町民プール利用料については「他の社会教育施設との整合性」を図るよう指摘。しかし、定例会3月会議「行財政推進プランの変更」で調査時と同じ内容で議案が提出されたことから、町民プール無料化を除く修正案が提出され可決。改めて、町より委員会意見を踏まえて社会教育施設利用料の見直し案が示されたので内容を調査
H29.4.28	定住促進住宅基本計画及び建設用地取得	3月に「福島町定住促進住宅基本計画」と建設用地取得に係る具体的な内容が示されたので、定住促進事業の考え方について調査
H29.11.28	郷土資料館の設置	チロップ館を、歴史・文化資料の展示を通して文化を育て学びあうまちづくりを目的とした「郷土資料館」として位置づけ、管理運営の方向性が示されたので内容を調査
H30.2.15	幼稚園（施設型給付）・保護者に対する子育て支援等	私学助成型で運営していた福島幼稚園が、平成30年度から幼稚園型（施設型給付）に移行するため、経営形態の変更に伴う幼稚園・保護者に対する支援について要望がなされ、町から新たな支援内容と対応する条例の制定や現行条例の一部改正等について、内容を調査
H30.12.3	社会体育施設に係る指定管理者制度の導入	社会体育施設（総合体育館、町民プール、ファミリースポーツ公園）の指定管理者制度導入に向けた方針等について、内容を調査
H30.12.3① H31.1.16②	町内会館等管理方針の見直し	町内会館の再編計画に基づいて進めている町内会館の統廃合整備に合わせて、異なる管理条例等の整理を行い、費用負担等の均衡を図る町内会館等管理方針の見直しをする資料が示されたので内容を調査
H31.2.8	防災計画の見直し	想定しえない大規模災害が全国各地で発生していることから、防災計画見直しの基本的方針が示され、その内容を調査 防災訓練、防災備蓄品の確保等、実効性のある計画づくりと、災害に対する取組の強化を指摘
R元.5.20	デマンドバスの運行状況	昨年11月19日開催調査で「利用のPR方法の工夫や、他町と比較して利用料が高い等の意見が町民からあることから、料金決定の経緯や関係事業者等への影響調査、料金を下げた場合の路線バスとの関係等を整理するように」との委員会意見を町に提出していたが、関係資料が提出されたので内容を調査

現体制での議会運営は、本年8月31日までとなります。この4年間、町民の皆様に議会活動へのご理解を賜りましたことに感謝を申し上げます。

両常任委員会

経済福祉（調査36件、意見書審議14件）

年 月 日	主 な 調 査 項 目	調 査 目 的
H28.6.6 H29.5.19	町農業の現状・福島版営農モデル	町で新たな農業に着手しようとする担い手の指針となる「福島版営農モデル」案等の内容と町農業の現状を調査
H28.7.19① H30.7.27②	福島町がんばる地元企業等応援事業	①条例の制定に向けて開催した各産業団体との懇談会の意見を取り入れた条例案の概要を調査 ②平成29年度助成金交付事業について、資料に基づき調査
H28.11.24① H29.5.19② H29.12.27③	公共的団体の総合調整（福島町森林組合の総合調整）	①平成27年度定例会12月会議で議決された「福島町森林組合の総合調整」の基本的考え方を確認、調査指導状況を調査 ②4月に承認された再建計画を含めた調整状況が示されたので、内容を確認、町林業行政の方向性等も確認・調査 ③町の支援策を含めた総合調整の最終的な方針が示されたので、内容を調査
H29.8.9	町道福島月崎幹線整備事業等	未整備区間の用地協議が整ったことから、当路線と交差し、かねてから要望のあった町道公営住宅線の歩道拡幅事業計画が示されたので、内容を調査
H30.1.26	第7期福島町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定	現行の第6期福島町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画が平成29年度で最終年度となり、新たに平成30年度からスタートする第7期計画の概要等が示されたので、内容を調査
H30.2.7① H31.2.27②	水道事業経営戦略・簡易水道への移行	①将来の水道事業の在り方を検討するため、国が要請している「福島町水道事業経営戦略」が策定されたので、内容を調査 ②経営戦略で、平成31年度からは簡易水道事業に移行することから、認可変更を調査
H30.4.11① H30.7.27②	アワビ陸上養殖事業 	①平成28年度から実施しているアワビ陸上養殖技術の開発と将来的な事業化に向けた試験の状況と、平成29年度に建設した養殖加工施設で今年度から本格実施する企業化事業について、資料に基づき内容を調査 ②今年度から本格稼働したアワビ陸上養殖施設について、設備に不具合が発生し養殖中の稚貝が大量斃死した件について、資料に基づき調査
H30.7.27	イカ残滓処理費用の助成	イカ残滓が極端に減少し、処理・運搬業者から処理料値上げ、運賃最低保証の要望があったことから、イカ残滓処理の現状を資料に基づき調査。 
H30.4.11	合葬式墓地整備事業	町内においてもニーズが高くなっている合葬式墓地の整備事業を、資料に基づき調査
H30.9.4	「第2青函トンネル構想」実現に向けた取組	研究団体による「第2青函トンネル構想」が発表され、町においても、地元期成会の立ち上げを表明。町より構想実現に向けた取組の資料が示されたので、内容を調査
H30.9.4	観光事業の状況と推進体制	観光事業を成功させるためには、基幹となる推進体制の強化が最も重要な課題であり、方向性を再確認するため内容を調査
R元.5.14	岩部クルーズ事業計画	本格運行する岩部クルーズ事業について、実際に使用するクルーズ船に乗船体験し、運行内容と受付や欠航時の連絡体制、安全対策等を調査

定例会5月会議

定例会5月会議は、5月31日に開会されました。

会議では、条例の制定・一部改正、補正予算など町長提出の7件を審議し、いずれも原案のとおり可決し、1件の報告を受けました。

■条例の制定（2件）

○半島地域企業立地促進のための固定資産税の不均一課税条例の制定

【制定内容】

事業者が設備の取得、建設、改修等を行う場合に、国税・地方税の優遇措置を受けることができる計画が認定されたことから、産業振興を図ることを目的に制定。

○グラスボート管理条例の制定

【制定内容】

岩部海岸を新たな観光資源とするために建造されたクルーズ船の管理運営条例。

■条例の一部改正（4件）

○町税条例の一部改正

【改正内容】

地方税法等の一部改正に伴う、個人町民税、軽自動車税に係る控除・軽減等の一部改正。

○国民健康保険税条例の一部改正

【改正内容】

国民健康保険法施行令の一部改正に伴う、課税限度額、低所得者の軽減拡充の一部改正。

○介護保険条例の一部改正

【改正内容】

介護保険法施行令等の施行に伴う、低所得者の保険料軽減率の一部改正。

○指定居宅サービス等の事業の人員、設備・運営基準等

の一部を改正する省令等に基づく関係条例の整理

【改正内容】

【改正内容】

国の基準改正に伴う、次の3本の条例の一部改正。

・福島町指定地域密着型サ-

ビスの事業の人員、設備・

運営基準条例

・指定地域密着型介護予防



採決に参加する杉村議員

補正予算の内容

■一般会計補正予算(第1号)

3千5百43万5千円を追加し、総額37億9千5百4万3千円となりました。

補正予算の主な内容は、次のとおりです。

○林内作業道整備事業費

2,100万円

○プレミアム付商品券(消費

税増税対策分)事業費

1,413万5千円

質問者：川村明雄議員

文書質問

新緑公園の管理について

【質問】 新緑公園の池の鯉が今年全滅したと聞いたが、冬期間の管理方法にどんな問題があったのか？公園や池、鯉に癒されてきた町民も多く、清掃も含め早急な復元を試みてほしい。また、池の水車が正常に回転するように調整、さらにベンチの板が剥離して釘がむき出しになっている危険個所の補修は直ちに行うべき。さらに、新遊具も整備されているのでホームページの更改をしては。

【回答】 鯉は補充・清掃し、ベンチ修理を発注している。

新緑公園の池の鯉は、冬期に水車上部の池が漏水し、FRP製の水槽で対応したが、冷気の影響を完全に防げず全滅した。新しい鯉はすでに補充済みで、開園に合せ池等の清掃を実施し、ベンチ等の施設についても修理を発注した。ホームページも更新していく。

文書質問

5月4・5日に開催された朝市の評価は

質問者：川村明雄議員



【質問】 チラシを見る限り、2日間午前10時から午後4時までの日程で朝市が開催されると思っていたが、実態は、町の観光PRは4日のみ、2日目は朝市実行委員会の1店のみの出店だった。天候が良かっただけに、来場者に喜んで貰える対応があればと感じた。アワビの串刺しも販売されたが、好評とは言い難いものであり、@500円の再考、シイタケの増が求められていた。どのような検討から設定され、どう評価されているか。販売収支・数量、売れ残り処分、対応予算、朝市実行委員会と町の連携など、どのような結果だったか。

【回答】 GW期間中の開催は、今後の検討事項としていきたい。

4月17日開催の朝市実行委員会で決定し、農産物を用意できる会員が出店することとなった。チラシで周知していたとおり商品が無くなり次第終了ということで案内しており両日ともお昼すぎの閉店となった。町の観光PRは、朝市とは関係なく、5月1日から4日までの予定どおり終了した。観光PRブースでは、アワビとシイタケの串焼きや、スルメ、青の洞窟サイダーなどの販売も行ったが、GW期間中に開催されたことのないイベントであり、今後、検討していきたい。朝市実行委員会と町の関係は、実行委員会の中で役割分担を協議し、町はテント設営と撤去、チラシの各戸配布によるPRを担当し、販売は実行委員会会員の自主性にゆだねていた。

井戸水から水道水への切り替え対策は

質問者：川村明雄議員

【質問】 1 簡易水道の給水率（戸数率） 2 井戸水のみを生活用水としている世帯数
3 簡易水道と井戸水を併用している世帯数
4 昨年9月のブラックアウトで何らかの支障を受けた井戸水使用世帯数を伺う。

本年4月から簡易水道に移行されたが、掘り抜き井戸水を選択、あるいは水道水の配水管が敷設されていない世帯や水道水と併用する方もいると思う。水道水の利活用を望んでいる方もいるが、配水管の敷設や給水補助制度、井戸水から水道水への切り替え融資制度等を検討してはどうか。

また、井戸水から水道への切り替え希望者の調査をしてはどうか。

【回答】 受益者負担が原則、新たな補助・融資制度は、考えていない。

- 1 95.2%
- 2 正確な調査は実施していないが、80戸程度と捉えている。
- 3 7戸
- 4 調査は実施していない。

井戸水から水道水への変更対策については、簡易水道へ制度移行しても、引き続き公営企業会計として運営されており、受益者負担が基本原則であることから、新たな補助制度・融資制度等は、既設の加入者との均衡の観点からも考えていない。

また、井戸水から水道への切り替え希望者の調査も考えていない。

定例会6月会議

定例会6月会議は、6月20日に開会されました。

会議では、条例の一部改正、補正予算、財産の取得、工事請負契約の締結、など町長提出の11件を審議し、いずれも原案のとおり可決し、1件の報告を受けました。

また、議会提案の意見書を可決し、一般質問では、2名の議員が、2項目について、町の対応や考え方をただししました。
参画者は1名でした。

■条例の一部改正（3件）

○ふるさと応援基金条例の一部改正

【改正内容】

「福島町を応援するために寄せられる寄付金」や、「寄付金を充てることのできる経費」などの、規定等を追加する一部改正。

○福島町放課後児童健全育成事業の設備・運営に関する基準を定める条例の一部改正

【改正内容】

学校教育法の改正により専門職大学制度が創設されたことに伴う一部改正。

○災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正

【改正内容】

災害弔慰金法改正により、貸付利率が「年3パーセント以内で条例で定める率」と定められたことに伴う一部改正。

■計画の変更（1件）

○過疎地域自立促進市町村計画の変更

【変更内容】

今年度予算等に伴う事業の追加。
・観光情報発信事業
・丸山団地道路整備事業
・地域間幹線系統松前木古内

線バス車両更新事業
・美山浄水場前処理施設整備事業
・耐震性貯水槽新設事業

■規約の変更（3件）

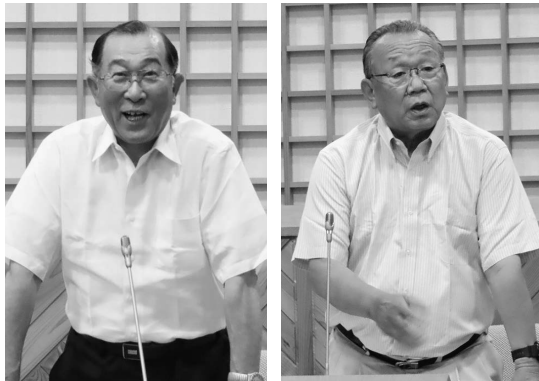
○北海道市町村職員退職手当組合規約の変更

○北海道市町村総合事務組合規約の変更

○北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更

【変更内容】

いずれも、構成団体の減少に伴う規約の変更。



町側と意見交換をする佐藤議員（左）と平野副議長（右）

◎財産の取得内容

区 分	内 容
取得する財産	福祉バス
内 容 数 量	一台
取 得 金 額	10,089,760円
相 手 方	有限会社 上嶋環境営繕 代表取締役 上嶋 利洋

◎工事請負契約の締結の内容

区 分	内 容
目 的	丸山団地町営住宅（R 1 棟）建築主体工事
方 法	指名競争入札
金 額	84,480,000円
相 手 方	松前郡福島町 金澤・小鹿経常建設共同企業体 代表者 株式会社 金澤建設 代表取締役 金澤 淳悦

■財産の取得・工事請負契約の締結（2件）

報 告

■一般質問等答弁事項進捗状況調査の報告

追跡調査に対応する方針等の報告。

補正予算の内容

■一般会計補正予算(第2号)

7千86万円を追加し、総額38億6千5百90万3千円となりました。

補正予算の主な内容は、次のとおりです。

○ふるさと応援基金運営費

475万円



補正予算について議論する熊野議員(左)と木村議員(右)



○がんばる地元企業等応援事業費

2,500万円

○ふるさと応援基金費

1,000万円

○がんばる地元企業等応援基金費

658万4千円

○空家等対策支援事業費

300万円

○防災マップ作成事業費

331万1千円

■浄化槽整備特別会計補正予算(第1号)

4百51万2千円を追加し、総額4千4百61万円となりました。

浄化槽設置基数を2基増やし、合計12基に変更する追加補正。



説明を聞く花田議員

議会提出の意見書

意見書1件を可決し、関係機関に送付しました。

■新たな過疎対策法の制定に関する意見書

【意見書の趣旨】

現行の「過疎地域自立促進特別措置法」が令和3年3月末で失効となるため、新たな過疎対策法の制定を要望するものです。

新たな過疎対策法の制定に関する意見書

過疎対策については、昭和45年に「過疎地域対策緊急措置法」制定以来、4次にわたる特別措置法の制定により、総合的な過疎対策事業が実施され、過疎地域における生活環境の整備や産業の振興など一定の成果を上げたところである。

しかしながら、依然として多くの集落が消滅の危機に瀕し、また、森林管理の放置による森林の荒廃や度重なる豪雨・地震等の発生による林地崩壊、河川の氾濫など、極めて深刻な状況に直面している。

過疎地域は、我が国の国土の過半を占め、豊かな自然や歴史・文化を有するふるさとの地域であり、都市に対する食料・水・エネルギーの供給、国土・自然環境の保全、いやしの場の提供、災害の防止、森林による地球温暖化の防止などに多大な貢献をしている。

過疎地域が果たしているこのような多面的・公益的機能は国民共有の財産であり、それは過疎地域の住民によって支えられてきたものである。

現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は令和3年3月末をもって失効することとなるが、過疎地域が果たしている多面的・公共的機能を今後も維持していくためには、引き続き、過疎地域に対して総合的かつ積極的な支援を充実・強化し、住民の暮らしを支えていく政策を確立・推進することが重要である。

過疎地域が、そこに住み続ける住民にとって安心・安全に暮らせる地域として健全に維持されることは、同時に、都市をも含めた国民全体の安心・安全な生活に寄与するものであることから、引き続き総合的な過疎対策を充実強化させることが必要である。

よって、新たな過疎対策法の制定を強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年6月20日

北海道福島町議会議長 溝部 幸基

提出先 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、農林水産大臣、国土交通大臣

一般質問



川村 明雄 議員

井戸水使用世帯の調査実施を 必要は無いと判断、水道加入促進に努める

【川村明雄議員】

当町では、80戸程度が生活用水に井戸水を使用しているようだが、昨年の胆振東部地震では、停電によりトイレの洗浄や臭気抜きができずに生活に難を来した声を聞く。

住民生活の観点や、本年、簡易水道に移行したが、給水戸数の減少などの実態から、水道水の普及対策を進めるためにも、井戸水使用世帯の定期的な水質検査・意向調査などが必要ではないか？
町長のお考えを伺います。



答弁する鳴海町長

【鳴海清春町長】

井戸水の水質検査は、設置者の自己責任により実施すべきものとされており、その指導は保健所等が行っている。町においては、健康管理の観点から、自主的な水質検査の注意喚起を進めたい。

井戸水から水道水への移行は、希望すれば容易にできる環境にあり、普及対策のアンケート調査は、必要性が無いと判断している。

少子高齢化が進む中で、水道の加入世帯も減少傾向にあり、将来的な財政見通しは厳しく、引き続き加入促進に努めてまいりたい。



平沼 昌平 議員

第2青函トンネル実現に記念館の活用を PRを進め、提言団体連携・取組を加速

【平沼昌平議員】

独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構を訪問し、構想実現に向けた支援要請等の意見交換をしてきたと行政報告で述べていたが、会の設立以降、町民気運の盛り上がりが出てきている気がする。

青函トンネル記念館を情報発信の場として、機運を高める必要性や記念館の施設整備、広告看板、パンフレット等により話題性を広げることにも必要と思うが、考えと方向性を伺う。

【鳴海清春町長】

私も議員同様、青函トンネル記念館が有効な情報発信基地の場所としてとらえ、PR用看板等の設置やパンフレットの作成に向けた準備作業を進めているが、施設整備改修までの考え方は持っていない。

青函トンネル工事完成後、相当時間も経過し、町民の世代交代が続く中で、町民の工事への思いが薄れているのも事実であり、構想実現に向けて町民の意識の醸成は欠かせない。

このため、町内団体などへの働きかけや関係者による講演会などを継続実施することでの自然発生的な機運の高まりを期待し、提言団体と連携し、取り組みを加速してまいりたい。

各議案の審議結果

- ・賛成が○、反対は×と表示しています。
- ・溝部幸基議長は採決には加わりません。



6月会議の様子

会議名	議案番号	議案名	議員名	杉村志朗	川村明雄	花田勇	木村隆	平沼昌平	佐藤孝男	熊野茂夫	平野隆雄	審査結果
5月会議 (5/31)	1	半島振興地域企業立地促進のための固定資産税の不均一課税に関する条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	2	グラスボート管理条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	
	3	町税条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	
	4	国民健康保険税条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	
	5	介護保険条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	
	6	指定居宅サービス等の事業の人員、設備・運営に関する基準等の一部を改正する省令等に基づく関係条例の整理		○	○	○	○	○	○	○	○	
	7	令和元年度一般会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	
	報告1	専決処分した事件の報告 ・平成30年度一般会計補正予算（第10号）		※採決はありません。								報告済み
6月会議 (6/20)	8	ふるさと応援基金条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	9	放課後児童健全育成事業の設備・運営に関する基準を定める条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	
	10	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	
	11	過疎地域自立促進市町村計画の変更		○	○	○	○	○	○	○	○	
	12	北海道市町村職員退職手当組合理約の変更		○	○	○	○	○	○	○	○	
	13	北海道市町村総合事務組合理約の変更		○	○	○	○	○	○	○	○	
	14	北海道町村議会議員公務災害補償等組合理約の変更		○	○	○	○	○	○	○	○	
	15	令和元年度一般会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	
	16	令和元年度浄化槽整備特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	
	17	丸山団地町営住宅（R1棟）建築主体工事請負契約の締結		○	○	○	○	○	○	○	○	
	18	財産（福祉バス）の取得		○	○	○	○	○	○	○	○	
	報告2	議会一般質問等答弁事項進捗状況調査の報告		※採決はありません。								報告済み
	発委1	新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出		○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

前浜の天然資源の状況は!!

【論点と意見】

アワビやウニ等の種苗放流の継続と、追跡調査の実施を!!

【調査概要】 令和元年5月14日開催

町から提出された資料に基づき、前浜におけるキタムラサキウニ等の天然資源の状況確認と、従来から実施している放流事業や移殖事業の内容等を調査したものです。また、資料の確認に先立ち、グラスボートに乗船し、浦和から岩部までの天然資源の状況を現地視察しました。

1. 放流事業の継続と追跡調査の実施状況は！

前浜の安定的漁獲量確保のため実施しているアワビやウニ、ナマコの種苗放流事業については、天然資源減少傾向の中、議会としても、継続実施していかなければならないと位置付けているが、漁業協同組合と協力し、放流事業の効果と成果を明らかにするため、追跡調査や資源管理等を着実に実施し、データを整備する必要があると思慮する。

放流事業やキタムラサキウニの深浅移殖のほか、別に資源回復の方法があるのか等、水産普及指導所や漁業協同組合など関係機関と協力し、広く調査を進められたい。



グラスボートから見た浦和沖天然資源の様子

2. 漁港内の未利用区域を利用した新たな養殖漁業の検討状況は！

町の水産業の主力を担っている昆布養殖事業とは別に、過去に未利用資源として検討したムール貝（ムラサキイガイ）など、漁港等の未利用海域を利活用して、地場の天然資源を新たな養殖業種とする方策を漁業関係者とともに調査・検討されたい。



福島漁港内で実施しているアカモク養殖試験

3. 総括意見

漁獲量の現況は、前浜でのイカ・まぐろ等の不漁、大型機船漁業による管外水揚の大幅減が続き、養殖昆布・ウニ等が主体となっている。

温暖化等による漁業環境の変化は厳しく、前浜資源の保持に重要な役割を果たしている、アワビ・ウニ・ナマコ等の種苗放流・深浅移植事業の推進、未利用資源の活用に期待するところが大きいことから、今後とも前浜資源の状況を注視する必要があると思慮するので、町においては、適宜その状況等について報告願いたい。

岩部クルーズ事業の準備は万全か!!

【論点と意見】

事業主体としての町の責任と関与を明確にすること!!

【調査概要】 令和元年5月14日開催

6月から本格運行する岩部クルーズ事業について、町から提出された資料に基づき、実際に使用するクルーズ船に乗り込み、運行内容と安全の確認、また、受付や欠航時の連絡体制、安全対策等を調査しました。

1. 事業主体としての町の責任と関与は！

事業主体が町であることから、受託事業者である福島町まちづくり工房が進める事業の推進に対し、「岩部クルーズ運航マニュアル」を基本とした対応も含めた顧客サービスの徹底、乗船者の人命優先、不測事態時の危機管理対策、関係機関との連絡調整の強化充実、繁忙期における人的協力体制の配慮等を強く望む。



現地視察の様子

2. 当日のクルーズ中止に対応する対策を！

運行当日・直前のクルーズ中止の対応については、予約段階から利用客に説明することであるが、来町した予約者がクルーズの代替えとして、例えば浦和漁港内でウニやアワビ等を採取しながら食べることができるような、福島町ならではの食の楽しみを予約者にも味わってもらえるサービスを早急に検討し、クルーズ中止の対策とされたい。



岩部海岸の耳岩

3. 今年度の事業結果の検証を！

クルーズは、天候に左右される事業であり、人命の安全確保が最優先されることなど、町・受託事業者においては、今年度の事業終了後、事業結果を確実に検証し、改善すべき点、促進すべき点等を明確にし、次年度の当該事業の充実発展につながる手立てを講じることを強く望む。

4. 総括意見

事前の試験運航において、指摘されていた、関係機関との協働連携、横綱・トンネル両記念館との連動・PR、事業遂行の試算については、明確な方向性・対策が示されず、地方創生推進交付金事業終了後へ向けた事業経営に懸念すべき点が多いことを十分認識し、事業の推進に当たることを強く望む。

クルーズ事業は、町にとって新たな観光の目玉であり、町が持つ地域資源、財産の最高の活用策であると認識し、永続的に、良好な形で事業を推進できるよう議会としても関わっていく必要があると思慮することから、町においては事業の検証等、適宜その状況等について報告願いたい。

デマンドバスの運行状況は!!

【論点と意見】

利用料値下げと、 運行区間の拡大を!!

【調査概要】 令和元年5月20日開催

昨年11月19日開催の調査で、「デマンドバス利用のPR方法の工夫や、他町と比較して利用料が高い等の意見が町民からあることから、料金決定の経緯や関係事業者等への影響調査、料金を下げた場合の路線バスとの関係等を整理するように」との委員会意見を町に提出しております。町から提出された関係資料に基づき調査をしました。

1. 料金改定の検討を！

利用料値下げについては、町医歯会（三師会）から要望書（公開質問状）が提出され、「町民と議員の懇談会」等での意見もあることから、町民の声や周辺自治体の状況を充分検討し、できるだけ早く具体案を示し、協議会の理解を得て国庫補助対象路線の認定申請につなげる努力を強く望む。

利用料については、現在の均一制による運賃形態を維持し、値下げを検討されることが望ましいと思慮する。



福島町デマンドバス

2. 国に対する地域事情の説明を！

当初計画から運行区間については、函館バスが運行する国道との関係性により千軒地区が除外されている現状にある。少子高齢化、高齢者の運転免許証返納等が進み、大きな社会変化が顕著となっていることを的確にとらえ、千軒地区住民がデマンドバスを利用することができるよう、国に対しデマンドバス未運行区間の解消を強く訴えられたい。



福島町地域公共交通確保維持改善協議会

3. 将来の交通体系を見据えた検討を！

デマンドバスに加え、現在町で運行している温泉バス・町立診療所バス・スクールバスを、町民の利便性確保と地元民間事業者の事業量確保、経費の削減を目的に、機能的に集約する、将来的な交通体系の一元的運行を検討されたい。

4. 総括意見

デマンドバスの目的は、町内循環型車両による町民の交通利便性の向上であり、今後とも地域の実情に沿った効果的な運行ができるよう議会としても関わっていく必要があると思慮することから、町においては、協議会の開催状況等について、適宜報告願いたい。

町の広報活動の実態は!!

【論点と意見】

防災無線の有効活用で、 ペーパーレス化・連絡員の 負担軽減を

回覧板等のペーパーレス化と連絡員の負担軽減については、「各戸配付の回覧への移行」「防災行政無線の活用による配布物の抑制」で対応することは妥当と評価する。

回覧の増については、滞って期日を過ぎてからの回覧とならないよう連絡員・町内会連合会等と協議・確認を行うことが必要である。

行事等の周知については、行事前日・当日等、防災行政無線活用を徹底されたい。

まちづくり基本条例に定める「町民との情報共有」推進のため、以下の点について検討が必要と思慮する。

【調査概要】 令和元年5月20日開催

町民に対する行政情報は、町広報や各種チラシ、回覧の配布、防災行政無線等の活用により、周知が図られているが、今年1月開催の議会広報広聴常任委員会総務部会による町内会連合会役員との懇談会で、「配布内容の精査・必要性の検討と、防災行政無線活用等によりペーパーレス化を進めるべき」との意見が出されたことから、町から提出された関係資料に基づき調査を実施しました。



福島町役場 通信室

1. 町ホームページの有効活用で積極的な情報発信を！

平成27年度導入のCMS（担当課で情報を更新するシステム）は、従来の企画課一元の情報管理を、各課で迅速な情報発信と情報更新を目指したものであるが、現状は、CMSの利便性を活かしきれず、リアルタイムの情報に乏しく、更新が滞る状態であり、有効に活用されているとは言い難く、改めて、役割を周知徹底され、各課に対し積極的な情報の発信を促されたい。

行政における基本的な統計資料等の充実や他町村の良い例などを参考に、見やすいホームページの編集に努められたい。



2. 千軒地区防災無線の雑音対策を！

防災行政無線設置後、現在に至るまで千軒地区一部施設で、雑音等により情報が聞き取りにくいとの声があるので、抜本的な雑音対策を検討されたい。

千軒そば屋隣の防災行政無線

全道議員研修会レポート

令和元年6月25日(火)札幌コンベンションセンターで北海道町村議会議長会主催の全道議員研修会が開催され、議員9名が参加しました。

全道から町村議会議員など関係者が約1,500人集まり、講師2名の講演による研修をしました。

講演①「どうなる？今後の日本政治」

講師：政治評論家 有馬 晴海 氏

- 現在の日本の問題は、少子高齢化・資源不足と、財源不足であり、毎年、国債で補てんしている現状である。
- 人口が急激に減っており、人手不足になるので、補完するために人工知能の活用が進んでいく。
- 国（町）の人口減少は、致命傷であり、議員各位には、「生まれてよかったと思える国（町）づくり」のため頑張っていたきたい。



有馬 晴海 講師



佐々木 信夫 講師

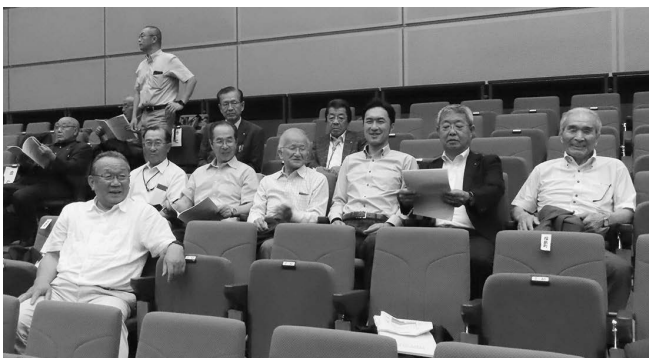
講演②「地方は変わるか

～議会はどう変わるか、自治体をどう変えるか～

講師：中央大学名誉教授 佐々木 信夫 氏

- 日本は2つの国に分かれている。東京国と地方国である。
- 日本の国づくりは、第2次世界大戦前までは「強い国づくり」、第2次世界大戦以降は「豊かな国づくり」を目指しているが、今後は「楽しい国づくり」を目指すべき。
- 今、政治と行政に求められることは、町を維持し、これからも住み続けるために「町の近代化を終わらせる」ことではないか。

議会では「議会議員研修条例」を定め、研修に参加した議員は、成果報告書を議長へ提出し、定例会で報告されます。今回の研修については、「定例会9月会議」で報告する予定となっております。



研修に参加した議員



会場の様子

◆ 会議等出席状況 ◆

会議や議会へ通知があった行事等の6月から7月までの出席状況をお知らせします。
「○」は出席、「×」は欠席、「―」は出席不要・任意、「◎」は委員外議員として出席、「△」は別公務・病欠のため、「職」は正副議長の職務出席を表しています。

年 月 日	会 議 ・ 行 事 名	杉 村	川 村	花 田	木 村	平 沼	佐 藤	熊 野	平 野	溝 部
6月2日	福島小学校運動会	―	○	―	○	―	―	―	○	○
9日	福島消防団総合訓練大会	○	○	○	○	―	○	―	○	○
11～12日	北海道町村議会議長会定期総会、議長・事務局長研修会（札幌市）	―	―	―	―	―	―	―	―	○
13日	議会運営委員会（定例会6月会議運営）	―	○	○	―	○	○	○	職	職
15～16日	札幌福島会総会（札幌市）	―	○	○	―	○	○	○	○	○
17日	定例会6月会議勉強会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	総務教育常任委員会（所管事務調査）	―	○	―	○	―	○	―	○	○
	経済福祉常任委員会（所管事務調査）	○	―	○	―	○	―	○	○	○
18日	岩手県葛巻町議会視察受入れ	―	―	―	―	○	―	―	○	○
20日	定例会6月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会（定例会6月会議反省事項）	―	○	○	―	○	○	○	職	職
23日	町民ふれあいスポーツ大会	―	○	―	―	―	―	○	―	○
25～26日	北海道町村議会議長会議員研修（札幌市）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30日	認定こども園福島保育所運動会	―	―	―	○	○	―	―	○	○
7月1日	議会運営委員会（5・6月会議反省事項の手交）	―	―	―	―	○	―	―	○	○
4日	渡島総合開発期成会札幌要望（札幌市）	―	―	―	―	―	―	―	―	○
6日	渡島地方消防総合訓練大会（長万部町）	―	―	―	○	―	○	―	―	○
8日	千葉県大多喜町議会視察受入れ	―	―	―	―	○	―	―	○	○
11日	渡島廃棄物処理広域連合議会臨時総会（北斗市）	―	―	―	―	―	○	―	○	―
12日	議員会・林活議員連盟臨時総会	―	○	○	○	○	○	○	○	○
	戦没者追悼式	―	○	○	○	○	○	○	○	○
14日	第21回千代の富士杯争奪相撲大会	―	―	―	○	―	○	―	○	○
19日	議会運営委員会（議会だより編集）	―	○	○	―	○	○	○	職	職
30日	渡島西部広域事務組合臨時会	―	―	○	―	―	○	―	―	○



札幌福島会



町民ふれあいスポーツ大会

町民の声

福島町出身者として



福島消防署
大橋 浩さん

私は高校進学時、この町を一旦離れましたが、卒業後に帰郷し、地元企業への就職を経て、現在は幼い頃からの夢であった、消防職員として職務に勤めています。
火災や救急、各種災害に迅速に対応するため、また、町民の方々に信頼される職員を目指す。日々訓練に励んでおります。

休日には、ランニングをしたり、小さいころから好きだった野球を同僚と一緒に楽しみながら汗を流しています。

また、お祭り等町の行事にも積極的に参加し、町民との触れ合いを大事にしています。

私は、この地元で、町のため、町民のために何が出来るとかを日々考え、職務を全うし、少しでも町に貢献できるように、これからも考え続け、一生懸命頑張りたいと思っています。

議員の雑感

高齢者ドライバー



総務教育常任委員
佐藤 孝男

当町の高齢者率は46%を超えています。また、多くの高齢者が車を運転しています。全国的に高齢運転車が暴走し、歩行者を巻き込む事故が続いており、多くの原因は、ブレーキとアクセルの踏み間違いとのこと。

免許更新の時に、75歳以上は認知機能検査が義務付けられています。検査では、異常がなかったとの記述も目にします。

ただ、認知機能が衰えるかと決めつけて、一律に運転免許証の自主返納を促すわけにはいかないと思います。特に地方では、車の運転が出来なければ日常生活に支障をきたします。

事故防止のため、自動運転車の実証試験や、ペダルの踏み間違いの時の自動ブレーキ車など、官民連携による普及活動が展開されております。

高齢者のみなさん、安全運転を心がけましょう。

議会の主な会議・行事予定

※変更・追加となる場合もあります。

8月16日(金)	町長・町議会議員選挙	
9月1日(日)	初議会	午後1時30分～議会議場
10日(火)	一般質問通告	午前10時～午後2時
	議会運営委員会	午後3時～委員会室
	・定例会9月会議の運営ほか	
12日(木)	9月会議勉強会	午後1時30分～議員控室
18日(水)	定例会9月会議	午前10時～議会議場
30日(月)	諮問会議	午後3時～委員会室

【視察の受入れ予定】 9月26日(木) 新潟県出雲崎町議会視察受入れ

編集後記



養殖昆布漁も最盛期を迎え、早朝から浜で頑張る皆さんの姿を目にしますし、横綱ビーチからは、子供たちの歓声が聞こえ、夏の様相となっておりま。

議会議員は、8月末で任期満了を迎え、9月から新体制となります。

この4年間の成果を基に、新たな体制においても、福島町をより良くして行くための議会活動に努め、議会だよりで紹介してまいります。

今回の「議会だより第123号」は、6月会議と4年間の議会活動を中心にお届けしました。

次回(令和元年12月1日発行)は、議会の新体制を紹介する予定です。



北方領土返還要求運動
シンボル「千島桜」